

## 令和7年度農福連携支援研修の実施計画

### 1 ねらい

福祉事業所職員が福祉関係施設の栽培ほ場で運営するのに必要な基礎知識及び技術を修得することを目的とし、そのために必要な研修を行う。

また、農家への施設外就労や農産物販売に向けて、農業者との調整、効率的に作業を行うための農作業の細分化と作業者へより解りやすく伝える手法について理解を深める。

### 2 研修内容

#### (1) 研修期間

令和7年5月23日（金）から令和8年1月21日（水）まで（28日間）

#### (2) 研修対象者・人数

福祉事業所関連職員 15名

#### (3) 実習・講義内容

農場実習	農業講義
開講式、オリエンテーション	野菜について、農薬の使い方
支柱立、収穫、防除、誘引、追肥、整枝、摘葉	-
支柱立、収穫、防除、誘引、追肥、整枝、摘葉	野菜づくりの基礎(春夏作)
支柱立、収穫、防除、誘引、追肥、整枝、摘葉	野菜づくりの基礎(春夏作)
孫づる整理、防除、玉直し、追肥、土寄	施肥と施肥効果
土づくり、収穫、整枝、摘葉、追肥等	野菜の病気と防除
除草、摘房、収穫、整枝、摘葉、防除、追肥	野菜の害虫と防除
収穫、整枝、摘葉、追肥等	作付計画の実際
収穫、整枝、摘葉、追肥等	パソコン簿記入門
秋冬基肥、畝立、は種、春夏収穫、摘心、整枝	野菜づくりの基礎(秋冬作)
秋冬基肥、畝立、は種、春夏収穫、摘心、整枝	野菜づくりの基礎(秋冬作)
秋冬基肥、畝立、は種、春夏収穫、摘心、整枝	土壌と土づくり
基肥、畝立、定植、防除、収穫、摘心、整枝	農作業安全、6次産業化
追肥、土寄、間引、除草、芽かき	新規就農の実際(GAP含)
-	土壌診断(物理性)

農場実習	農業講義
-	土壌診断(化学性)及び土壌改良方法
収穫、調製	農業経営基礎(スマート農業含)
追肥、土寄、間引、除草	農福連携技術支援者概論
収穫、調製	農業気象の見方、農福連携
収穫、調製	農・福・食・医、わかりやすく教える技術
収穫、調製×4回	-
閉講式	-

#### (4) 研修時間 (原則)

共同実習：午前9時から正午まで (途中適宜休憩)

講義演習 (農業分野)：午後1時から午後2時30分まで (途中適宜休憩)

#### (5) 実習のすすめ方

ア 実習は参加自由であるが、資料は全員に配付する。受講しない作業は、ほ場での講師による説明、質疑応答で対応する。

イ 参加者7～8名で班をつくり、班ごとに共同で実習を行う。少人数の場合は1班のみとする。

ウ 実習は、班ごとに異なる作業を行う。作業内容は、途中で交代する。

エ 栽培品目は、露地野菜 (ナス、キュウリ、ピーマン、スイカ等の夏野菜と、キャベツ、ブロッコリー、ハクサイ、ダイコン等の秋冬野菜) とする。

オ 栽培方法は慣行栽培とし、この研修では有機農法など特殊栽培については実習しない。

カ 原則として、実習に使用する道具、資材等は農業大学校で準備する。

#### (6) 講義

原則として午後、旧本館2階で行う。欠席者には講義資料を後日配付する。

#### (7) 農福連携事例視察研修

農福連携に取り組んでいる農家のほ場や取組内容、6次産業化の取組、直売所などの見学を、バスを借り上げ年3回実施する。

### 3 経費

(1) 教材費等の費用はかからない。

(2) 昼食は各自で用意。なお、視察研修会の際、昼食代等が必要となることもある。